

ひらき・つなぎ・つむぐ



コミュニティ・スクール 成功の鍵は「心」

コミュニティ・スクールは、学校教育の発展形。「子どもたちの未来をつくる」という「目的」に向かっている「地域とともにある学校」を目指す仕組みである。

- ① どこに行きたいから、何を達成すればいいか。
- ② そのために何が足りなくて何を補えばいいか。
- ③ それらをどのように獲得するか。

「洗練」と「熟成」を経て、本物のコミュニティ・スクールが生まれる。

地域と学校が、「やりたいこと・やってほしいこと」のアイデアを出し合う。それを「洗練」し、絞って取り組ませて時間をかけて「熟成」する。

毎年異動があり、違う教職員がつなぎながら伝統を築いていくためには、「プライド（誇り）」が不可欠。真のプライドは、「洗練」と「熟成」を繰り返すことで、生まれてくる。

地域の伝統を築くためにも、「地域のプライド」が必要となる。コミュニティ・スクールは、そのプライドの真ん中に「子ども」がいる姿であり、学校と地域が運命共同体となった状態だと考える。



交流と上級生の心の成長

義務教育学校のよさは、交流にあり。

- 年上の生徒が、年下の児童を見守り、ひっぱり、応援する。
年上の優しい心が芽生え、自己肯定感が高まる。

義務教育学校のよさは、9年生の成長にあり。

- 9学年（最上級生）に「塩浜学園プライド」の自覚が生まれる。
1年～9年のつながりで見ると、この感覚でつむいでいく。



今日は、お越しいただき有難うございました！子ども達も喜んでいました！
今回、「がむしゃら行進曲」を踊っていた子達が8,9年生になり、同じように1,2年生と3,4年生の表現と一緒に踊ってくれていて、学園が一つになっていました!!☺
塩浜学園の素敵なおところを受け継いでくれていて、その光景に感動しちゃいました
またいつでもいらしてください！✧（6月11日 嵐潮祭 職員からのメール）

